

# 常任委員会の審査から

## 営業戦略農林水産委員会

### 北関東3県の連携で観光振興を図るべき 3県の周遊による誘客を促進していく

**問** 北関東3県の連携を強化し、観光振興を図るべきと考える。また、鉄道、高速道路、空港、港湾をもっと活用した誘客をすべきではないか。

**答** 令和5年秋に開催のデスクティネーションキャンペーン※2を契機に連携を図るなど、北関東3県の周遊による誘客を促進していく。本県には陸海空のインフラがそろっており、有効活用していきたい。

**問** 農業水利施設の維持管理などのため、農家が支払う賦課金が増額された土地改良区がある。米価が下落し、苦しい状況にある中、農家に寄り添い、どう対応するのか。



北関東3県連携による観光PR

**答** 施設の長寿命化対策や補修経費の一部補助など、土地改良区の運営を支援するとともに、より良い方策を関係機関などと検討していきたい。(ほかに、いばらき旅あんしん割、霞ヶ浦における漁業就業希望者への支援なども質問)

## 総務企画委員会

### 休日議会開催の成果と課題、今後の開催は課題を議会に示し、次回開催の可否を判断いただく

**問** 11月28日(日)に初開催した休日議会の成果と課題は。開催内容などもしつかり考え継続してほしいが、所見は。

**答** 初めて議会の傍聴に来た方も多く、議場での熱心な議論をじかに感じ、県政や議会に興味関心を持っていただけた。一方、職員の休日出勤に伴う諸経費などが課題であり、これらを整理して議会に示し、次回開催に向けた可否について判断していただきたい。

**問** 県北ロングトレイル※1の利用状況と課題、今後の整備計画、全線開通の時期は。

**答** 直近で月1200名程度が利用しているが、道が滑り



さらなる整備と利用促進が期待される県北ロングトレイル

やすいという意見があるので、注意喚起していく。大子町から南へ順次整備を進めており、全線開通は令和7年度を予定。(ほかに、ひたちなか海浜鉄道延伸計画の課題と対応、砂沼サンビーチ跡地利用と県による支援なども質問)

## 土木企業立地推進委員会

### 県が工業団地を開発する上での審査基準を指標化すべき 現在設けている審査基準をさらに細かく精査していく

**問** 工業団地開発は、整備済みの保有土地の売却もあり、新たに進めるか否かの見極めが難しい。事業採算性、土地の災害リスク、企業からの引き合い状況などの審査基準を指標化すべきだが、所見は。

**答** 20年ぶりの県施行となるつくばみらい市福岡地区の開発では、企業の立地ニーズ調査を行った。インフラ状況など、現在設けている審査基準をさらに細かく精査していく。

**問** 近年、大型車の増加などで、道路舗装の劣化が著しい。管理瑕疵につながるため、対策が必要だが、所見は。

**答** 今年度から、那珂市内の



企業立地が決定した工業団地(茨城空港テクノパーク)

国道349号で、新しい舗装材料の検証を進めている。今後、追跡調査を実施し、新材料の有効性を確認していく。(ほかに、熱海市伊豆山地区土砂災害を受けた本県の対策、茨城空港テクノパークへの企業立地の決り手なども質問)

## 防災環境産業委員会

### アクアワールド茨城県大洗水族館の今後の展開はさまざまな分野との連携など新たな挑戦を行っていく

**問** 20周年記念として、いろいろな取り組みを行っているが、多様な層にアピールできる魅力ある水族館を目指していただきたい。今後の展開は。

**答** 新たなファンの獲得に向け、人気アニメなどの共同イベントに取り組んでいるところ。今後もアニメ以外の分野との連携など、新しいことに挑戦していきたい。

**問** 原子力広報紙において、東海第二発電所の安全対策などを知らせてもらうことは大事であるが、放射線の正しい知識が得られる広報も必要だと考える。取り組み状況は。

**答** 一般県民向けのハンド



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション  
20周年記念事業第5弾として3月末まで開催

ブックや児童生徒を対象にした教材での普及啓発に加え、講演会への専門家の派遣、ラジオ広報やその内容のネット配信などに取り組んでいる。(ほかに、茨城県水道ビジョン、中小企業への専門人材の派遣支援なども質問)

## 文教警察委員会

### 信号機の無い横断歩道での車の停車率向上に向けた対策は歩行者優先と正しい横断の徹底について情報発信していく

**問** 信号機の無い横断歩道に歩行者がいる場合の自動車の停車率が全国平均より低いのが、向上に向けた対策は。

**答** 横断歩道の塗り直しや横断歩道の車道方向をハンパ※4構造にし、自動車の走行速度の低減を図っている。また、横断歩道における歩行者優先や正しい横断の徹底について、情報発信を行っている。

**問** 定められた教員数が未配置の場合や、年度途中で育児休業などになった時の対応は。

**答** 配置される教員数には余裕があるため、学級担任以外の教員などが指導しており、子どもの学習に影響はない。



信号機の無い横断歩道における横断の様子

また、年度途中で補充が必要な時は、教育事務所の講師志願者リストから採用しているほか、退職者データベースやハローワークを活用している。(ほかに、教員の不祥事根絶に向けた取り組み、警察施設の再編整備計画なども質問)

## 保健福祉医療委員会

### 県立中央病院の魅力向上策は地域の医療機関との連携や教育機能の強化に取り組む

**問** 患者や医療スタッフから選ばれるため、県立中央病院の魅力を一層高めるための努力が必要だが、取り組みは。

**答** 紹介患者を増やすため、近隣の医療機関との連携強化に継続して取り組んでいる。また、県内に定着する医師を輩出できるよう、筑波大学とも連携しながら、より充実した教育ができる施設を目指す。

**問** 県立医療大学における今回の採点ミスは、問題の順番を入れ替えた後の確認が不十分であったことが原因とのことだが、再発防止策は。

**答** 問題などの修正の際に確認漏れが生じないように、確認



県立中央病院の教育機能のさらなる強化

者や手順などのルール化やチェックリストの見直しを行う。さらに、それらを文書化するなど、再発防止に万全を期す。(ほかに、コロナワクチンの3回目接種、HPVワクチン※3の積極的勧奨再開の国の方針を受けた対応なども質問)